

「5月例会と総会」は中止とし、山積する諸課題は継続審議といたします

■ 中止を決断した理由について詳細に説明いたします。

- 新型コロナ・ウィルスの感染拡大とその脅威が、収束に向かうどころか、東京オリンピックの延期、都知事の「感染爆発の重大局面」発言に基づく外出自粛要請等と共に「感染拡大のスピードが上がり、明らかに今までとはフェーズが変わったという認識や危機感を持っている」との専門家の発言に鑑み、現段階で5/31に予定されている「5月例会と総会」は中止を決断せざるを得ない。
- 会場校の東京藝大においても、新学期始業日を2週間あるいはゴールデンウィーク明けに延期を検討しており、また当学会は中高年の方々を中心として構成されているという現状からも、中止という判断はやむを得ないことと認識する。もしこの5月の時点で例会等を開催し、新型コロナウィルス保菌者ないし未発症の方が出席された場合、学会終了後、数日或いは数週間後に新たな感染者も出る可能性があり、特に高齢者の方々が発症した場合、生死にかかわる多大な被害が起こりうることは、世界で2番目に65歳以上の人口比率が多いイタリアで多数の死者が出ていることでも自明である（因みに世界一65歳以上の人口比率が多い国は日本である）。
- つい10日ほど前までは、事を大げさに考えすぎている、として一笑に付すとした考え方も散見されたが、この未知の、見えざる敵との戦いという異常事態においては、用心に用心を重ねておく必要があるのではないか。

中止となりました5月例会と総会の今後の扱いにつきましては、理事会において検討し、決定次第、皆様にお知らせいたします。よろしく願いいたします。
何とぞ、ご自愛のほど…お願い申し上げます。

2020年3月27日

川上勝功、佐々木正利（文責）、豊田喜代美